

# 6月定例会における各常任委員会での質疑

- 総務文教常任委員会**
- ◆平成23年度たつの市一般会計補正予算(第2号)
- 問 河川等監視システム構築事業について、監視カメラからの情報をインターネットで確認する際に有線は切れる可能性があるが、無線によるシステム構築や有線と無線を組み合わせることは考えていないのか。
- 答 今回は、電話回線によるものを検討しており、無線は考えていらないが、有線と無線の組み合わせは、今後検討したい。
- 問 道徳教育推進拠点校事業について、①ログラムの内容は。②拠点校はどこか。③過去の経緯は。**
- 答 ①兵庫県が作成した4種類の道徳副読本を児童生徒に配布し、道徳教育をさらに充実したものには遭っていない。
- 問 歴史・文化資料館管理運営事業について、これまでに防犯用カメラなどが壊されたり、盗難に遭うようなことはあつたか。**
- 答 今まで1件も盗難などには遭っていない。



へ展開する②今年度は御津中学校が指定。③事業は22年度に始まり、昨年度は揖保小学校が指定。

- 生活福祉常任委員会**
- ◆平成23年度たつの市一般会計補正予算(第2号)
- 問 災害時生活用水協力井戸の登録における水質検査とはどのような基準か。
- 答 県の健康福祉事務所は、個人が井戸を最初に使う時に25項目の検査と、その後毎年10項目の検査を指導している。協力井戸に登録すれば、3年に1度の登録更新時に10項目検査費用は市が負担する。
- 問 災害時生活用水協力井戸の水質検査はどこへ委託するのか。**
- 答 龍野健康福祉事務所に委託する。
- 問 災害時生活用水協力**



- 経済建設常任委員会**
- ◆30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択要請について
- 請願事項に対し特に異議を唱える意見などはない、「請願を採択すべきである」との意見が出された。
- 問 井戸の情報収集と募集方法は。**
- 答 市広報で協力井戸を募集する。応募のない地域は、井戸の持ち主に協力依頼し、今年度は、各小学校区ごとに1ヵ所ずつは選定したい。
- 問 たつの暮らし試行事業を推進していくため、ひょうご田舎暮らし・多自然居住支援協議会に参加するとの説明だが、たつの暮らし試行事業とは、どのようなものでは。**
- 答 調査費用の問題もあるため、アンケートにより、水がたくさん出るか、枯れる時期がないかなどを調査し、最も揚水量が多い井戸を登録したい。
- 問 災害を想定して、災害時生活用水協力井戸には手押しポンプを設置したり、避難所に井戸を掘ることも必要では。**
- 答 今後、進める中で検討したい。
- 問 地域農業の後継者不足解消のため、新規就農者に地域の担い手としてたつの市で農業をしてもらう。その際、研修費の支援や住宅支援、耕作放棄地を再生する事業費の一部を支援する。**
- 答 市広報で既に発信している。また、県の就農支援センターにPRの依頼をしている。
- 問 たつの暮らし試行事業は、年度当初には事業決定されており、当初予算も組まれているが、ひょうご田舎暮らし・多自然居住支援協議会への加入は、当初予算の計上以降に決まったのか。**
- 答 県内に当協議会があるという情報を入手するのが遅れたため、今回の補正に及んだ。